

2040年の鞍手町の人口目標数は。

政策推進課長

2040年には1万2,094人まで確保したい

可欠。新幹線駅を鞍手町に。2040年、人口目標三万人を町長

当然のことながら働く場所も必要です。新幹線駅、私も本当感で

ございます。駅が出来れば本当にいいと思っております。

現在鞍手町が描いているコンパクトシティー、鞍手インターの活用、くら

て学園等の施策による2040年の鞍手町の人口目標数は。

政策推進課長

鞍手町まち・ひと・しごと創生総合戦略を

作成し、現在37の様々な事業を実施。町の人口の目標値を2025

コンパクトシティーのメリットとデメリットは

年には1万4,470人、2040年には1

万2,094人まで確保したいと考えております。

コンパクトシティー構想を推進するメリットは、一・住宅や施設を一定の地域に集めることよって効率的な行政サービスが提供出来ます。二・まちなかの利用されずに放置されていきます土地の有効活用、乱開発の抑制に

子ども達の未来のために、人口を減らさない、増やすためには若者も働ける場所が必要。そのためには核となるものが必要不

より郊外の緑地や農地の保全につながります三、まちなかに様々な

機能を集中させること

によって、都市の空洞化を抑制できる、経済交流活動が活発になり中心市街地の活性化が期待できます。

デメリットとしては、中心部の開発に偏ってしまい、郊外の活性化策が十分でなくなる

ると、農業地域の過疎化、それに伴う土地

の荒廃などが予想されまた心的な面としましては、郊外の住民が感じる心的疎外感により

まちなかの住民とのあつれきが生まれると言われております。

まち・ひと・しごと創

生総合戦略推進委員会の進捗状況と広報活動

自治体の厳しい財政状況を踏まえ、郊外に広がった都市機能を町の中心部に集約するもので、現在国主導で全国的に広げられています。

政策推進課長
推進委員会を「まち」「ひと」「しごと」と3つの部会に分かれていただき、職員とともに総合戦略の素案の課題とアイデアについて協議を行って頂き、各2回ずつ、延べ6回また職員が素案作りに延べ51回の会議を行い進行中です。

町といたしましては今後シティープロモーション、シティーセールと言いますが、町をアピールしていかなければならぬと考えております。

山本華世さんが会長のまち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の進捗状況と広報活動

注釈
コンパクトシティーとは、少子高齢化や地方